

ハイスクールD×D 毒舌男はイレギュラー

虹野天原

注意事項

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

あらすじ

ハイスクールD×Dの主人公、兵藤一誠の親友枠のオリ主再構成物。

オリ主は見た目が陰気で、毒舌を吐くガタイの良いDSです。

序盤は原作沿いで話は進むが、展開や構成が段々と原作からズレます。

視点はずっとオリ主なので、イツセーの羨ましい状況は基本伝聞です。

オリ主は頭は悪く無いですが、早合点や勘違いをそれなりにします。

そこそこシリアスっぽく演出してるけど世界観は変わってない。

イツセーがおっぱいドラゴンと呼ばれるのは既定路線だし、

戦いの最中に笑いが普通に入ったりするコメディです。

オリ主にしたって、イツセーと悪ノリするエロ高校生だから。

ちよつと嗜虐心が強かったり見た目が怖いせいでズレてるだけ。

目次

	設定資料※ネタバレ含む	1
	第一章 旧校舎のディアボロス	
	Life. 0	4
10	Life. 1 毒舌男は眠れない。	

設定資料※ネタバレ含む

キャラ紹介、主に捏造したオリキャラ。

・久住克也（くずみ かつや）

本作中の主人公。イツセーの幼馴染で親友。

幼少期にイツセーに救われた事を強く恩義に感じている。

死んだ魚の様な目を長い髪で隠し、陰気で毒舌や煽りが好きなどSである。

背は高く、鍛え込んでいるのでガタイも良い為、普通に不良扱い。

イツセー、松田、元浜の三人と合わせて『変態四人組』と呼ばれる。

別名は『鬼畜オーガ』。直に言われないので本人は知らない。

若干、イツセーとのB.L的な噂が有るが、ノーマルです。

陵辱系のゲームに造詣が深く、実践したいと考えているナチュラルクス。

相談を受けたり頼られるなど、まともな面は有る。

戦闘時の服装は上下揃えた黒スーツにグラサンとエナメルの靴とマフィアスタイル。

胡散臭い詐欺師の様に騙り、勝つ為なら正々堂々なんてしない。

長台詞の時の毒舌はリーガ○・ハイの様にスラスラかつ、煽りまくり。

そこそこの火力と毒持ちの紙装甲なので、純粋な強さは微妙の一言。

神器無しならモブで終わっていた人間なので血縁などに特殊設定、一切なし。

神器『毒蛇龍の鉤爪刀』

アンデッド・ボリアーキッド・ドラゴン
不死身の九頭竜の異名を持つ邪龍ヒュドラが封印されている。

常に毒が滴る黒刃の刀身と毒々しい紫の柄であり、柄は龍の意匠で構成されている。

基本的には人間だろうが悪魔だろうが区別なく害を与える猛毒である。

時間を掛けて調整した結果、平常時の毒の性質を変更する事に成功した。

・毒の性質一覧。

1、インミュニティ・ポイズン
免疫毒

細胞や魔力による再生を阻害して治癒を困難にする。イメージは白血病。

滴る毒は素の状態だとこの毒になるように調整してある。

人間の状態で調整した毒はこの免疫毒のみ。本来の猛毒は無調整扱い。

後は新しい毒を調整する度に追加します。

魔力を使える様になってからはレパートリーが増えます。

・第一ヒロイン。登場後と言うか、攻略後に表記。

現状ではミツテルトになる可能性が高い。

当然、様々な捏造設定がががが。

・イツセーハーレムに関して。

克也によるイツセーの誘導、又は偶然によって原作よりも関係性が拗れない様に立ち回る。

結果として、イツセーが立てたフラグが幾らか多く回収される事になる。

例として、リアスやアジアといったヒロインが彼女と言える関係に進展するなど。

克也の誘導はイツセーへの恩返しと罪滅ぼしからで善意です。

・捏造、改変項目。時系列バラバラのメモ。

ヒュドラを魔物から異名を持つ邪龍へと変更。

リアスの戦車の駒によって転生悪魔になる。

なので、ロスヴァイセがグレモリー眷属にならない。

ロスヴァイセがイツセーのヒロインにならない。

→これは、NTRでは無いんです（血涙）。

原作よりイツセーハーレムの進行度が早い。

ミッテルト生存ルート、ヒロイン候補（未定）。

使い魔の設定を若干捏造、実質下僕に。

かませ犬（ライザー）さんをゲームで倒す。

第一章 旧校舎のディアボロス

Life 0

俺の名前は久住克也^{くずみかつや}、冴えない高校二年生だ。幼少期から不眠症に悩まされ、消えない濃い隈、死んだ魚の様に濁った目、目を隠すボサボサの長髪、おまけに口が悪い……冴えないに目付きが悪いと陰気臭いを加えるべきか。近寄るだけで女子に避けられる俺が友人と呼べるのは坊主の松田とメガネの元浜ぐらいだ。そして、幼馴染の親友であり、命の恩人でも有るイツセーこと、兵藤一誠だ。

陰気臭い俺だが鍛えていたおかげか、筋肉質だし、180以上有るからガタイは悪くない。鍛えた理由は近い将来、確実に厄介事に舞い込まれるであろうイツセーの盾になる為だ。何故そんな事が分かっているかと言えば、幼少期に俺の命が救われた件に関わるのだが……今は別件で厄介事に巻き込まれている。

ああ、今の厄介事は命の危険は恐らく無いと思うんだが、女子剣道部の部室を覗いているのだ。女子剣道部の隣に有る倉庫の壁に覗き穴が有るらしく、松田と元浜が張り付いている。イツセーが交代を急かしているのを後目に嘆息する。俺の命の恩人は何処までもやりたい盛りの男子高校生に成長したらしい。それ自体は健全なんだが、もう少

し欲望を抑えたらイッセーの顔は悪くないから彼女も出来るだろうに。松田と元浜？うーん……爽やか系と知的な感じを印象付けられたら少しは違うんだろうが……この学園では無理だ。俺達四人は『変態四人組』と呼ばれているからな。直球エロのイッセーと松田、シチュに萌える俺と元浜とタイプが分かれるが、今回の様な事を何度も繰り返していけば付いて当然のアダ名だと思う。

今回も案の定見つかりそうになって逃げ出した。覗けなかったイッセーが地団駄踏んでた。自己弁護するが、俺は覗く気が無かった。覗くより強引に迫った方が色々と有意義だと思うからだけど。そんな何でもない日常が続けば良いのに——と願っていたが、現実には甘くない。

「かつちゃん！俺、彼女が出来たよ！」

「良かったじゃないかイッセー。相手はどんな子なんだ？」

「天野夕麻あまのゆうまちゃんって言って、黒髪がツヤツヤしてスレンダーな超絶美少女だぜ！勿論胸も大きかった！しかもしかも、向こうから告白してくれたから即OK！こっちも一目惚れしちゃったから、コレって運命？そうだよな！イヤッホオオオウ!!」

満面の笑みで彼女を自慢して来るイッセー。でもさ、冷静に考えて見てくれよ。そうしたらもてない星に生まれた俺達に一目惚れなんて奇跡が舞い込まない事ぐらい分かる。普通に考えたら罰ゲームやドツキリの可能性が高く、場合によっては美人局って才

チだろう。いや、イツセーが本当にモテたんなら心から応援するし、全身全霊で協力する気だ。しかし、イツセーに対してロクでもない悪意が見え隠れする場合は相応の対処をしないとならない。それも早急にだ、笑い話で済まない可能性が高過ぎるからだ。

推理で分かる根拠を述べると、近隣の超絶美少女の情報元は元浜がリストアップしていたがそんな女子は知らない。イツセーの趣味が特殊なら別だが、巨乳と可愛い子が好きなイツセーの趣味は間違いなく一般的な趣味である。イツセーをはつきり名指しで告白して来た相手が県外にいるのも不自然だし、そうで無くても超絶美少女と言うなら小耳に挟んだぐらいは有る筈だろう。だが、一切聞いた事が無い。実に不自然だ。

そして、俺はその手の不自然に心当たりが有るし、この街には不自然の原因と成り得る連中が結構な数いる。頭がおかしいと思われるだろうが、連中は悪魔だ。ガッツリ人外な姿で人を襲う奴もいれば、傍目からは人間としか思えない姿で普通に共存している奴もいる。

共存してる方の悪魔は対価を貰って願いを叶える契約主義なタイプで、悪魔の主流派で有る。逆に人外な姿の悪魔は『はぐれ悪魔』と言って人間を襲って喰う欲望主義なタイプでまともな対話は不可能だ。姿が人外になったのは邪悪だからとか言うらしいがぶっちゃけどうでも良い。

人間を襲う理由は餌として見ているのも有るけど、人間か人間の血を引く奴だけが特

殊な力を持つ神セイクリッド・ギア器を持って生まれる可能性が有るからだ。悪魔以外にも天使とか墮

天使とかの勢力も有るらしいが、どうも人間より圧倒的に強い。具体的には核で殺せそうにない化物が結構いるのだが、その力関係を覆す可能性を秘めているのが神器だ。

神器は「聖書の神」とやらが作ったシステムらしいが、結構穴だらけで人間から奪って移植する事が出来るらしい。奪われた人間は死ぬし、移植した側にも副作用が有るらしいけど、実力差を覆せる危険な兵器の鹵獲が可能なのだ。そして、そんな兵器を生み出す可能性が有る人間はさながら家畜、そりゃあ滅ぼされない訳だよ。

何で此処まで詳しいかと言えば、何体か人外な悪魔を殺した時に拷問して吐かせたからだ。俺の中に有った神器が既に目覚めてたから事なきを得たけど、それを目当てに襲ってきたのだ。これが俺だけならイツセーを巻き込まない為にも雲隠れするんだが、生憎とイツセーの中にも神器が有る事を俺は知っている。俺の神器の中にいる憎たらしい化物から得た情報なので確実だ。

そして本題だが、現状を判断するとイツセーの神器を狙う賊が現れたって訳だ。今回の犯人の目星は凡そだが付いている。墮天使だ。

情報がはぐれ悪魔由来だから若干信憑性に欠けるが、先ず天使では無いだろう。魔女狩り宜しく狂信者は厄介だが、大前提として自分達は正義で有ると喧伝する連中がハニートラップを仕掛けるとは思えない。

次に、悪魔で無いと考える理由は目立った問題も無く学園で共存している連中がいて、美形揃いな奴らが誘えばイツセーはホイホイと付いて行くだろう。わざわざ見知らぬ奴を宛がう利点が無い。はぐれ曰く、人間臭いとか臆病者とか罵っていたので人間に對して比較的友好的な悪魔で有り、罣に嵌めるとも思えない。

はぐれ悪魔に關してはモンスターと言つて差し支えない馬鹿ばかりだったので、わざわざ告白とか目立つ事をせず路地裏とか人氣のない所で襲つて来るからだ。尾行されてゐるのに気付いて廢墟に行つたら高笑いしながら襲つて来たぐらいに頭が足りない。無論、全てのはぐれ悪魔がこうでは無いのだろうが、目立つメリツトがねえよ。

ひたすら惚気けているイツセーに事情を話すと傷付けてしまいそうだ。いや、女子に手酷い目に合うぐらいなら大丈夫か。だが馬鹿正直に説明した所で理解はして貰えんだろう。厨二病を古傷を広げている自虐にしか見えない。俺や元浜ぐらいラノベやネット小説を嗜んでいてくれたら話が早いのに、イツセーの場合、少年漫画が基本だから伝わる気がしねえ。

証拠になる様なモノを見せても良いんだが、下手に使つて目立つと拙いし、俺だつて大まかな知識しか無いから誰かに見られたらそいつを消す以外に証拠隠滅の方法が無いんだよ。記憶操作とか結界とか有るらしいが、魔力を使う事が前提で俺には無理。と言うか、普通の人間が独学で出来る内容じゃ無い。

よし、裏事情を話すのは後回しにしよう。取り敢えず、天野夕麻……恐らく偽名だろうが、ソイツを探しだしてOHANASHIしないと。勧誘が目的の場合は雇用条件を確認の上で判断する必要がある。どちらにせよ巻き込まれるだろうからとつと何処かの勢力下に収まってしまった方がよい。寄らば大樹の陰、マイノリティよりもマジョリテイ、長い物に巻かれていた方が余計な厄介事を抱えるリスクが減る。ただでさえ、厄介事の種を抱えているんだからこれぐらいはな。

この日はずつとイツセーが惚気けてて、「嘘だっ！」と叫んだ松田と元浜に彼女を今度紹介する事で保留されていた。ああ、早速今日にも動いた方が良さそうだ。傷の浅い内に勘違い・エア彼女だった何てオチで済む様に。どっぶり洗脳されてからは遅いんだ。男の悪堕ちとか需要ないけど、俺からすれば人質になるから急がないと。

Life. 1 毒舌男は眠れない。

その日の夜、俺は活動を開始した。何をしているかって？ただちよつと神器を解放しながら街を練り歩いているだけですつて。勿論、薄暗く人気のない路地裏とかに限る。そもそも俺の神器である毒蛇龍の鉤爪刀は鞘の無い刀だから人目に触れたら通報待った無しなんだ。少しだけ反つた黒塗りの刀身に装飾過多の紫色の柄が毒々しい。

イツセー達は徹夜でAV鑑賞会するらしいが、光熱費の支払いとか手続きが色々有るからと断つた。一人暮らしの身の上で面倒事が多い事は理解して貰えたのだ。手続き期限が近いのは嘘じゃ無いしな。そんな益体もない事を考えると背筋に冷気を感じた。「妙な獲物を持つているな貴様。誰の差金か応えろ」

見た目は紺色のトレンチコートを着た男だが、敵意とか殺意をピンピンに感じるので堅気じゃない。ヤーさんが俺の神器を見て妙とか言うのもおかしいので人外確定。とは言え、俺の服装にツツコミを入れない奴がまともと思えない。こういう戦闘の時は気合を入れる為に黒スーツの上下で揃え、エナメル靴とグラサンまで完備のマフィアスタイルにしている。ああ、普段の服装は適当なトレーナーとジーパンだからな、地味で目立たないので勘違いしないでくれ。

「質問を許した覚えは無いぞ墮天使。面倒だから何処へなりとも消え失せろ」

「崇高なる墮天使、ドーナシック様に向かつてその口の聞きようは何だ！」

このナルシストはやつぱ墮天使か。煽り耐性0とは……何と言うカモでしょう。バサツと黒い羽が背中に現れた所を見るに収納自在か。いや、待て……はぐれ悪魔でもそうだったが外見ぐらい変えられるんだよなコイツラ人外は。つまり……つまり、イツセーに告白したとか言う墮天使の正体がこの男の可能性が有るのか！

「ドーナシックと言ったか……神器を持った奴が狙いなんだろ？」

「ほう、あのターゲットを知っているとは。生かして帰す理由が無くなったな」

イツセーの不憫度が上がったぞ。初めての彼女、ニューハーフかよ。しかもターゲットトって事は本気でイツセーを狙っていると……マジで可哀想なんだが。ホロリと涙が零れた。

「泣いているのか、臆病者を相手にする時間も勿体無いんでな、死ぬが良い」

何か勘違いした変態の手から光が溢れだし、槍を形取る。見ただけで頭の危険信号が五月蠅いから、喰らったら確実に死ぬ。そんな危険物を投げ付けて来たので必死に避けながら前に出て、刀を斬り上げる。狙いは当然首だが、後ろに下がられたので当たらない。第二目標の槍を投げた無防備な右手を肘から斬り落とせたのでまあ良しとする。

「何だと!?! 貴様、何者だ!」

「質問を許した覚えは、無い」

実に馬鹿馬鹿しい勘違いをする奴だ。敵にヒントをあげる訳無いじゃないか。追撃の為に更に前に踏み込む。傷付いた右腕をかばう左手は手首の辺りで切り落とす。更に足を狙って達磨にしても良いんだが、光の槍を喰らったら致命傷なのでさっさとドメを刺す。

「ぐあつ」

正面から首を突き刺し、引き抜きながらの横回転。首がポロリと落ちて逝ったら光の粒子になって消えてしまう。はぐれ悪魔もそうだったし、死体が消えるのはデフォオなのかね？今回の収穫はドロップ品？の黒い羽が1枚だ。初ドロップが微妙な品だ。いや、ドロップじゃなくて死体が少し残っただけなんですけどね。

ん？手際が良すぎるって？？とうの昔に童貞を捨てているから当然だな、但しバ○的な意味での童貞だ。初回のはぐれ悪魔の時は殆ど用意が無くて全治数週間の複雑骨折を負ったりと残念なデビュー戦だった。性的な童貞はだいじなもの宜しく捨てられないので困っているよ。

「お仕事終了つと」

『オイ、俺ハ暴レタリナイゾ』

「五月蠅いぞ糞蛇、人間の俺じゃ、あの程度の墮天使で十分キツいつつうの」

『人間ハ軟弱ダナ、ソレデハ俺ノカヲ使イコナセナイゾ』

「無茶言うなやボケ」

俺の脳内に直接話し掛けて来るこのウザい奴は不死身アンデッド・ボリアーキョー・ドラゴンの九頭龍、邪龍ヒュドラだ。

戦争のドサクサで神器に封印されたらしいが、その神器がガキの頃に発現したのが最悪だった。自我がロクに確立されてない時期に精神内で暴れ回りやがった上に、毒による精神汚染で乗っ取ろうとして来やがった糞蛇だ。

俺が廃人にならなかつたのは幸運が積み重なった結果論に過ぎない。身近に紫藤というエクソシストがいた事で派手に動けなかつた事、格上の神器を宿したイツセーの接触のおかげで消えかけていた俺の意識が浮上出来た為だ。エクソシストの方に感謝していないのは、邪龍を宿しているのがバレた時点で俺を迷わず斬る狂信者だからだ。後で聞いたが、何度か聖剣を隠し持つて来ていたらしく、命の危機だったそうだ。

精神世界で何度も死闘を繰り広げたおかげで、今では力を貸してくれる様になったが、基本的に暴れたいだけの糞蛇だから信用に値しない。神器が本気の力を発揮するパランス・ブレイク禁手バラス・ブレイクを俺が使う場合、対価が無いと無理とかいう巫山戯具合だしな。

基本が一確の死にゲーをどうにか生き残って安堵したのか冷や汗が流れる。あいつが油断も慢心も無く襲い掛かって来たら俺は抵抗出来たか？勝てるかじゃなくて、助かるかどうかの瀬戸際だ。そもそも飛ばれてしまっただけでも、俺には攻撃手段が無いの

で詰む。

ああ、リアルは何て死にゲーなんだろう。だが今回は割りかし楽だったと言える。神器の性能をまるで活かす事も、幾つか用意した小細工を披露する事も無く倒せてしまった。これならまだ本能で襲い掛かって来る様なはぐれ悪魔の方が怖い。

俺の神器は普通に武器として見ると頑丈だが、シャムシール自体はそんなに強くない。中にいる糞蛇曰く、自分より格上に五大龍王、その上に二天龍、更にその上に神様とかを一蹴する次元の違うドラゴンが二体いる。つまり、それなりのランクでしかないらしい。人間とか並の人外よりは強いんだろうが、負けて封印された訳だし、最強とか目指す気にもなれない。実際、暴れられればそれで良いとかいうタチの悪い馬鹿なので邪龍と称されている。俺の事を乗っ取ろうとした理由だつて早く暴れたいからだつたし……そんな理由で乗っ取られてたまるかってんだ。今でも夢の中でちよつかいを出してくるせいで、不眠症に悩まされていて忌々しい。

話を戻すと、常に刀身から滴っている毒の追加効果こそが本命で有り、今回の様な武器の強さを全面に押し出した戦いは向いていないんだ。理想としては戦わずしての毒殺や、背後から奇襲しての暗殺とかのアサシンの戦い方になる。ただ、敵の情報が不明確な上、力量に差が有り過ぎると毒が効かないらしいし、身体能力をもっと鍛えないと暗殺すら気取られる。

だから、相手から少しでも情報を搾り取れる様な詐術と、煽る事で激昂させて視野狭窄に陥らせる事に活路を見出したのが俺の戦闘スタイル。煽りの基本は毒を吐き、プライドの高い相手には無視も効果的と言った感じで他人を煽ったりプライドを傷付ける術だけが得意になってしまった。しかも趣味になってる辺り、俺ってほんとクズ。情報を搾り取る為に今ある情報からの推測とカマかけ、推測が間違っても相手の反応から修正すれば良い。後は油断して貰える様な演技が出来れば良いが、今の所慢心した奴としか会ってないので要らないかもな。

滴っている毒の性質は多少なら調整出来るので、基本的には再生を阻害する免疫インミュニティ・ポイズンポイズン毒にしている。無調整だと人外だろうとお構いなしに悪影響を齎す猛毒なので、周囲に撒き散らすだけで深刻なバイオハザードを引き起こしかねない。他の種類の毒も案は有るのだが、何処から手を付けて良いかすら分からない。普通の毒で有れば、人体構造把握の為に呼んだ医学書の知識で再現出来るかもしれない。しかし、人外に効く毒になると途端に概念的なファンタジー仕様になるので、どう調整して良いかの検討も付かない。

だから俺が勝てない相手は、邪龍より素で強い奴や物理特化の脳筋になる。神器の力を使っている以上、中の邪龍より強い相手に勝てる筈も無いし、そんな奴には毒も効かない。物理特化の脳筋の場合、俺には一撃で倒せる火力が無いし、手加減されても一撃

喰らったら即死の紙装甲なんだよ。さっきのドーナシックだって、腕を斬り落とせなかったら俺、死んでるからね。光の槍なら確実に即死、殴られただけでも一発で昏倒するぐらいは有り得る。骨の数本で済んだとしても、刀を全力で振るえない時点で勝ち目が無く、実質致命傷である。

——ああ、願わくばイツセーがこんな世界に足を踏み入れるまで今暫しの猶予があらん事を。